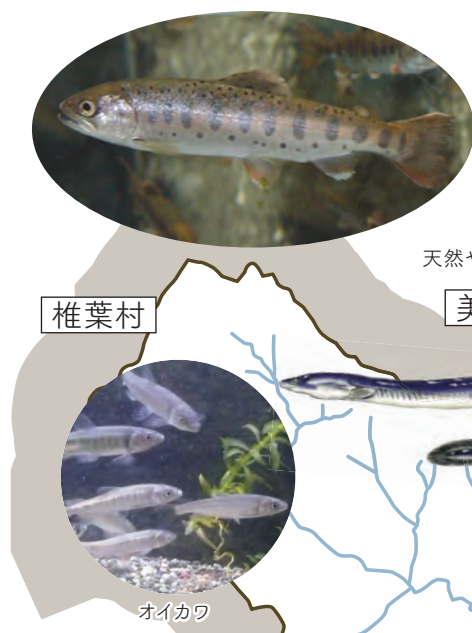


西都周遊MAP

空気がおいしい、緑の風が心地よい
豊かな自然と古代ロマンのまち・西都。



銀鏡(しろみ)神社 コノハナサクヤヒメの姉イワナガヒメをまつる。自分の醜い姿を映す鏡を遠くに放り投げると、この地を明るく照らしていたという。この鏡が御神体。



一ツ瀬ダム 高さ130m、堤長416m、18万kwの発電規模を誇る九州最大のアーチ式ダム。一ツ瀬発電所展望台からは雄大なダム湖の景色が楽しめる。



速川神社 願い事一つだけ叶えてくれるという神社。商売繁盛、合格祈願、子宝祈願など参拝者も多い。



黒貫寺 クマソ征伐のため、この地を訪れた景行天皇が6年にわたって滞在した「高屋宮(たかやのみや)」の跡と伝えられる。伊東氏の時代には日向第一の寺として栄えた。



都於郡城跡

都於郡城跡 南北朝時代から室町・戦国時代にかけて242年間にわたり伊東氏累代の居城。全盛時代には「伊東48城」といわれ、その中心だった。天正5(1577)年に島津氏によって落とされた。後に天正遣欧使節として知られる伊東マンショはこの城で生まれ、豊後の大友宗麟のもとに落ちのびたといわれる。



一ツ瀬川の清流



ヤマガラ



一ツ瀬川の景観



有楽椿の里



米良大橋



一ツ瀬ダム展望台



杉安峡 かつては「日向の嵐山」と称され、屋形船が浮かび旅館や料亭が並び多くの観光客で賑わった。現在も川面に映る兩岸の緑と一ツ瀬川の悠然とした流れは美しく魅力的。



長谷観音 養老年間(717)に建立したと伝えられ、山岳仏教の道場として大いに繁栄した。大永2年(1522)の大火で宝物や古文書は消失したが、三尊像の頭部のみ無傷で残った。



伊東マンショ像



都於郡城本丸跡



長谷観音三尊像

常心塚古墳

三財川

国富町

都於郡城跡

都於郡中

黒貫寺

高屋神社

巨田神社

東九州自動車道

宮崎市



桜と菜の花に包まれる西都原古墳群



うら面へ

- ・特別史跡公園西都原古墳群
- ・西都原考古博物館
- ・記紀の道
 - 都萬神社・御舟塚・逢初川
 - 八尋殿・無戸室・児湯の池
 - 石貫神社・大山祇塚・鬼の窟古墳
 - 男狭稲塚 女狭稲塚
- ・日向国分寺跡・木喰五智館
- ・都於郡歴史館(西の都アグリ館1F)

指定管理者
一般財団法人みやざき公園協会
特別史跡公園西都原古墳群
TEL: 0983-42-0024
FAX: 0983-42-0242
<https://mppf.or.jp/saito/>
Mail: saito@mppf.or.jp



宮崎県立西都原考古博物館

西都原古墳群を中心とした県内の考古学情報についての展示や特別展、講演会などが行われる。遺跡から出土した資料に直接触れて観賞し、体感的に学ぶことを目的とした「ハンズオン展示」を行っている。隣接の体験館では、埴輪づくりや勾玉づくりなどの体験ができる。

休み:月曜日、祝日の翌日、12月28日～1月4日



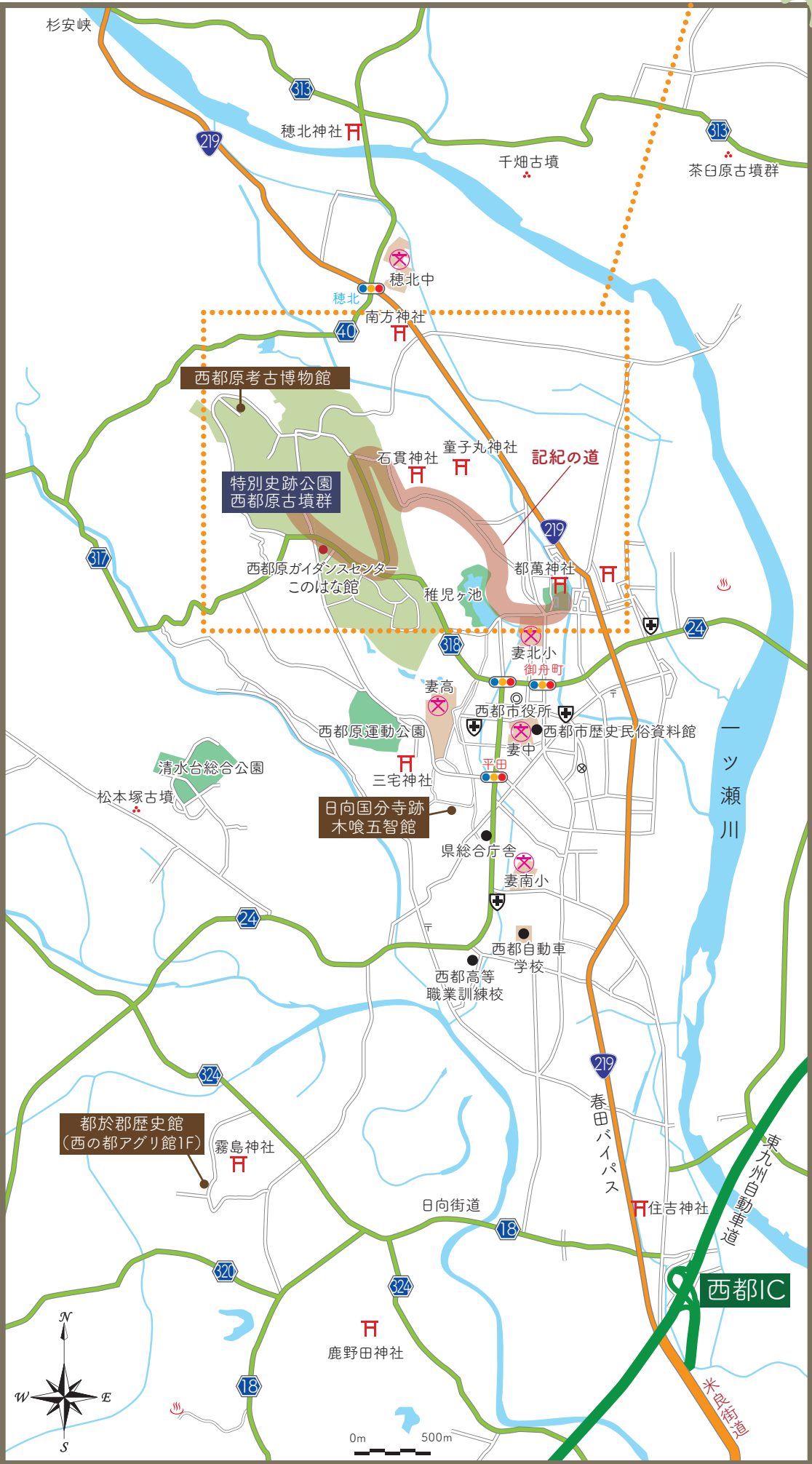
日向国分寺跡・木喰五智館

8世紀中頃に建設された国分寺跡地。現在は、木喰彫像中最大作といわれる「五智如来座像」5体を安置する木喰五智館が建っている。



都於郡歴史館(西の都アグリ館1F)

国指定史跡「都於郡城跡」、西都市出身で天正遣欧少年使節正使である「伊東マンショ」、都於郡城跡北側の奈良瀬坂から下顎骨の化石が発見された「ナウマンゾウ」を3大コンセプトとした歴史展示施設。



記・紀の道



① 都萬神社(つまじんじゃ)

『延喜式』の日向式内四社(都萬神社・都農神社・江田神社・霧島神社)の一社。コノハナサクヤヒメが祭神で、「縁結び」「安産」の神様として古くから崇められている。

また、コノハナサクヤヒメが子育てのために、お乳の代わりに甘酒を与えたという言い伝えから、清酒発祥の地ともよばれている。



② 御舟塚(みふねづか)

降臨されたニギノミコト一行が、さらに良い土地を求めて舟で到着した地。



③ 逢初川(あいぞめがわ)

ニギノミコトとコノハナサクヤヒメが出会い、恋が始まったといわれる川。



④ 八尋殿(やひろでん)

ニギノミコトとコノハナサクヤヒメの新婚生活のために建てられた御殿の跡。



⑤ 無戸室(うつむろ)

コノハナサクヤヒメが自身の身の潔白のために、炎の中で3皇子を出産した産屋跡。



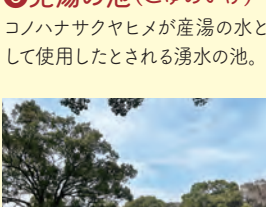
⑥ 児湯の池(こゆのいけ)

コノハナサクヤヒメが産湯の水として使用したとされる湧水の池。



⑦ 石貫神社(いしぬきじんじゃ)

コノハナサクヤヒメの父オオヤマトミノカミをまつる神社。



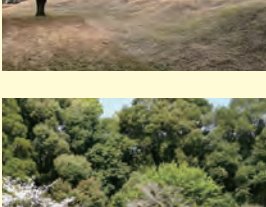
⑧ 大山祇塚(おおやまつみづか)

コノハナサクヤヒメの父、オオヤマトミノカミの御陵と伝えられている。



⑨ 鬼の窟古墳(おにのいわやこふん)

コノハナサクヤヒメを嫁にと請う鬼が、オオヤマトミノカミの要求により一夜で完成させた窟。



⑩ 男狭稲塚・女狭稲塚(おさほづか・めさほづか)

男狭稲塚は国内最大の帆立貝型古墳、女狭稲塚は九州最大の前方後円墳で、西都原古墳群を代表する古墳。それぞれニギノミコト、コノハナサクヤヒメの御陵であると言われている。天皇家の陵墓参考地として宮内庁により管理されている。

